取扱説明書1

器具品番　HC2014C

リモコン式

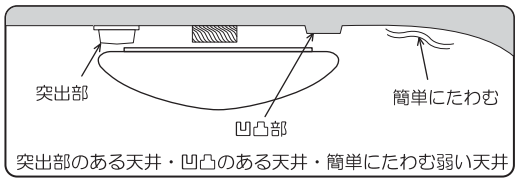
商品を取付ける前に必ずご確認ください

定　格

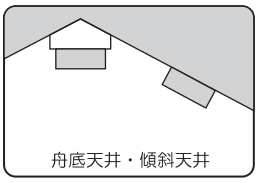
使用電圧	周波数	消費電力	待機電力	常 夜 灯
AC100V	50/60Hz共通	39W	約1W以下	2W以下

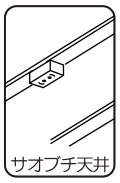
●このような天井、配線器具には取付できません

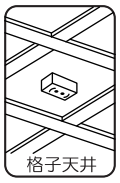
●取付けできない天井

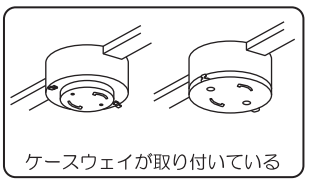


突出部のある天井・凹凸のある天井・簡単にたわむ弱い天井


舟底天井・傾斜天井

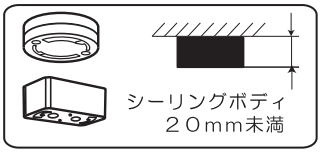

サオブチ天井

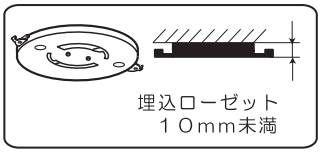

格子天井


ケースウェイが取り付いている

※天井面に密着しないため、本体がグラグラして危険です。

●配線器具の出しろが少ないもの

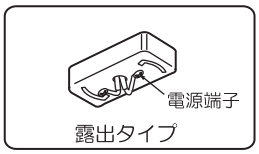

シーリングボディ
20mm未満


埋込ローゼット
10mm未満

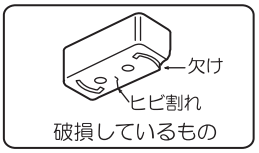
フル引掛シーリング
20mm未満

フル引掛ローゼット
8mm未満

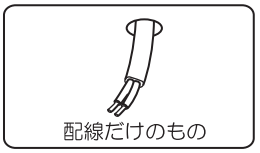
●取付けできない配線器具等



露出タイプ



破損しているもの

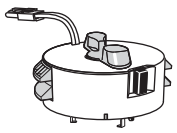

配線だけのもの

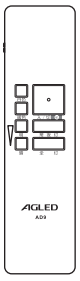
シーリングハンガー付きのもの

ぐらぐらしているもの

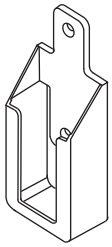
※交換には電気工事士の資格が必要です。必ず工事店・電気店にご相談ください。

●付属部品


アダプタ
（品番：LC-104N）



リモコン送信機
（品番：AD9）


リモコンホルダー

単3形乾電池
（2本）

木ネジ
（2本）

SEL035231

●各部のなまえと器具の取付けかた　※必ず電源スイッチを切ってくださ

① 天井の配線器具を確認する

取付けできる配線器具

引掛埋込ローゼットAタイプ

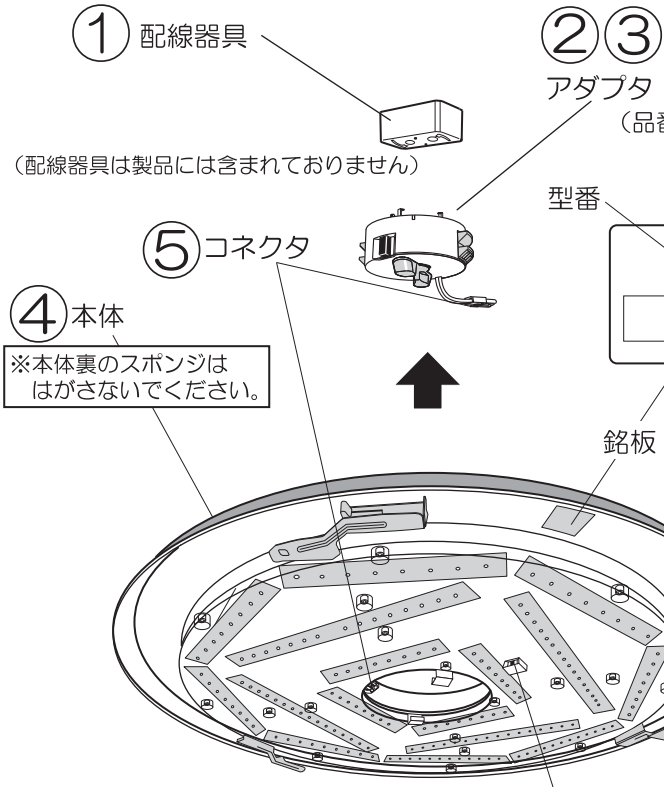
引掛埋込ローゼットBタイプ

角型引掛シーリング

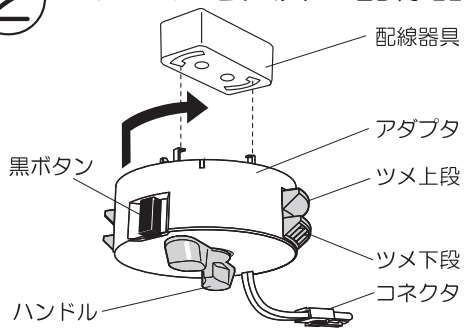
丸型引掛シーリングAタイプ

丸型引掛シーリングBタイプ

※上記以外の場合は電気工事店に取付けを依頼してください。
※ぐらつきがないか必ず確認してください。



② アダプタを天井の配線器具に取付ける



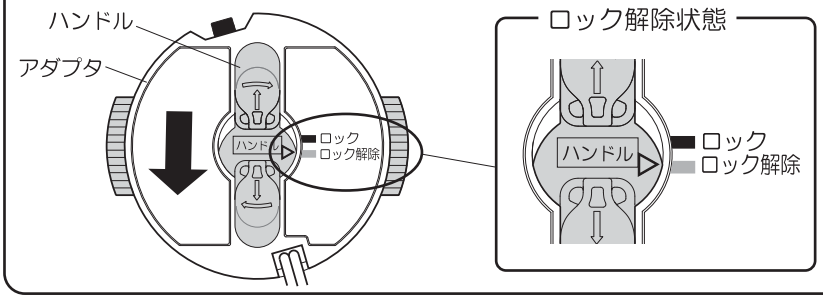
注 確認

※カチッと音がするまで右へまわす。

※取付け後、黒ボタンを押さずに左へまわしてはずれないことを確認する。

③ アダプタのロック解除の確認

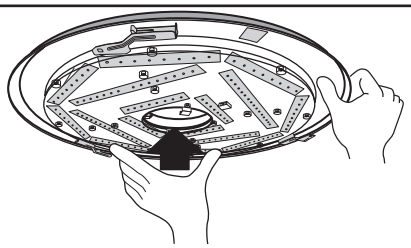
※ハンドルの▷印が「ロック解除」の位置（赤色）に合っているか確認する。
※合っていない場合は、ハンドルをスライドさせ解除状態にする。

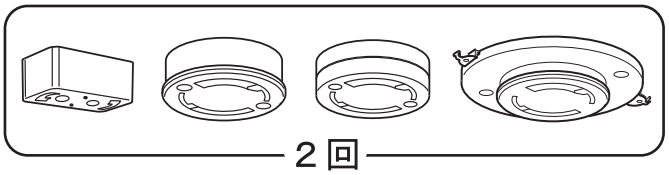


④ 本体をアダプタに合わせ押し上げる

本体中央付近を強く押し上げてください。

⚠警告	天井配置器具によって押し上げる回数が違います。取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。

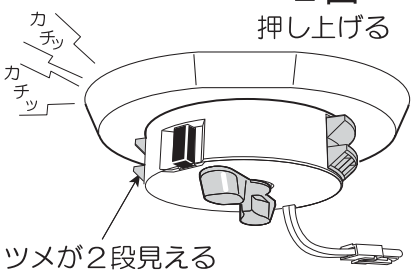




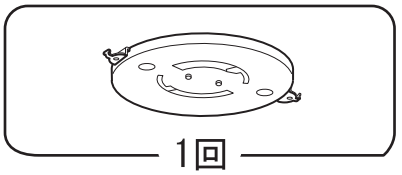
2回

押し上げる

カチッ
カチッ



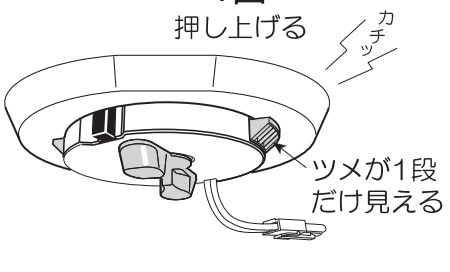
⚠警告
左右のツメが確実に見えることを確認してください。



1回

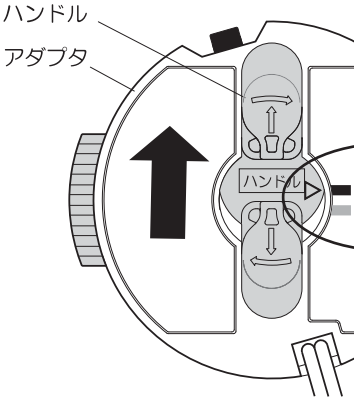
押し上げる

カチッ



●アダプタをロックして

※ハンドルの▷印が「ロック」の位
までハンドルを矢印の方向にス



| ⚠警告 | 本体のガタつきがない
しないか確認してくだ |
|---|---|

い。

番：LC-104N）

○○○○○○○○○器具
○○○-○○○○○

コンチャンネル

ください

位置（青色）にくる
ライドさせる。

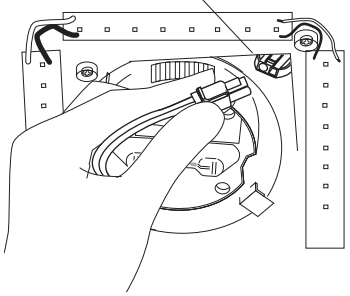
ロック
ロック解除

か、容易に回転
さい。

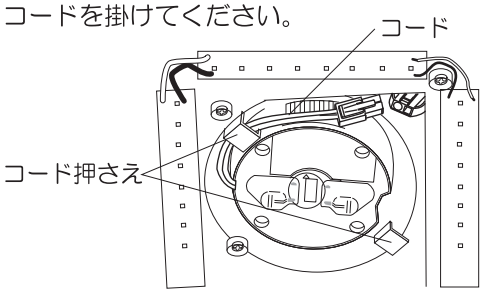
⑤コネクタを接続する

しっかり確実に差し込む。

※軽く引張って抜けない
ことを確認する。

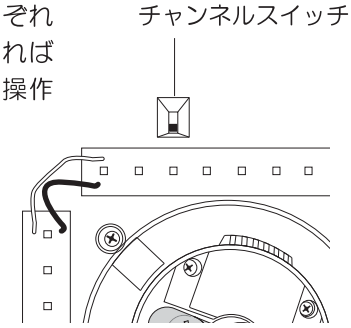


※コードの影が映る場合はコード押さえに
コードを掛けてください。



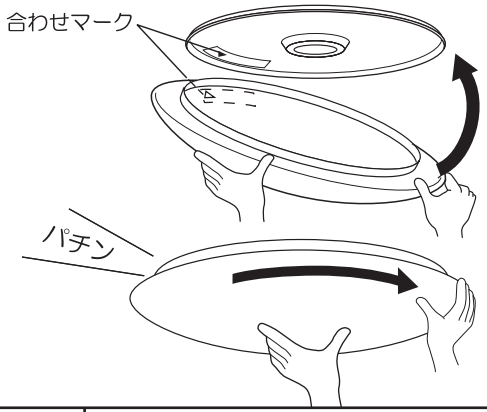
⑥リモコンチャンネル設定

２台ご使用の場合、それぞれ
違うチャンネルを設定すれば
１台のリモコン送信機で操作
できます。



⑦カバーを取付ける

▲印を合わせて中央部をささえながらパチンと
音がして止まるまで右にまわす。



⚠警告	カバーは確実に取付けてください。 落下してけがの恐れがあります。

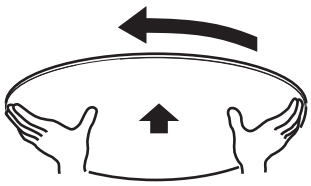
※本体が回転する場合は④の「本体をアダプタ
にあわせて押し上げる」を確認してください。

●器具のはずしかた

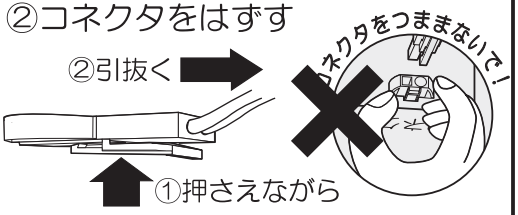
※必ず電源スイッチを切ってください
※消灯直後はランプや本体が高温になって
います。冷えてからはずしてください。

①カバーをはずす

軽く押し上げながら左にまわす。

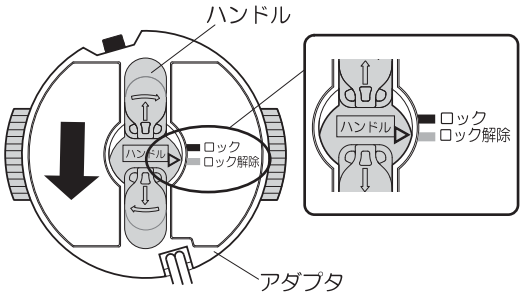


②コネクタをはずす



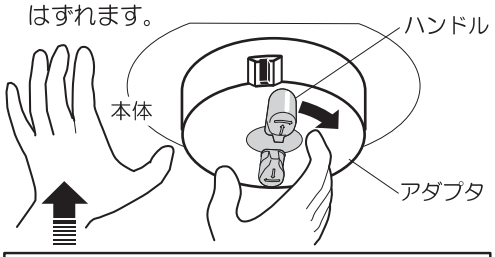
③アダプタのロックを解除する

※ハンドルの▶印が「ロック解除」の位置（赤色）
にくるまでハンドルを矢印の方向にスライドさせる。



④本体をはずす

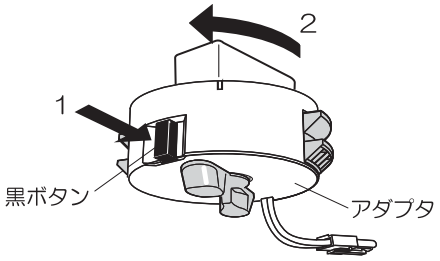
※必ず片手で本体を支えながらもう一方の手で
ハンドルを時計回りに右へ回転すると本体が
はずれます。



注意	必ず片手で本体を支えてください。 本体の落下によるケガの原因となります。

⑤アダプタをはずす

黒ボタンを押しながら左にまわす。



| 注意 | 黒ボタンを押さずに強く
まわすと破損します。 |
|---|---|

●メモリー機能について　※壁付き調光器(ライトコントロール)では使用しないでください。

●壁スイッチやリモコン送信機で点灯されますと、消灯前の明るさ（調光・調色）で点灯します。

点灯状態（調光・調色） → 壁スイッチOFF / リモコンOFF → 消　灯 → 壁スイッチON / リモコンON → 消灯前の点灯状態（調光・調色）

※1　常夜灯から消灯した場合、常夜灯点灯前の明るさで点灯します。

点灯状態（調光・調色） → 常夜灯 → 壁スイッチOFF / リモコンOFF → 消　灯 → 壁スイッチON / リモコンON → 常夜灯の前の点灯状態（調光・調色）

※2　サーカディアンモードを使用中に消灯した場合、サーカディアンモード設定前の明るさで点灯します。(サーカディアンモードは解除されます。)

点灯状態（調光・調色） → 設　定 → サーカディアンモード → 壁スイッチOFF / リモコンOFF → 消　灯 → 壁スイッチON / リモコンON → サーカディアンモード設定前の点灯状態（調光・調色）

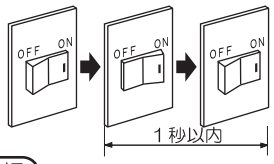
●リモコン・壁スイッチの使い方

壁スイッチで操作する

※壁スイッチにライトが付いたタイプでは切替えできない場合があります。

●壁スイッチをすばやく(１秒以内)OFF→ONさせると点灯状態が切替えられます。

壁スイッチでの点灯順序



消灯 → 壁スイッチON → 全光（暖色:100% 白色:100%） → 調光１（暖色:25% 白色:25%） → 調光２（白色:100% 暖色:0%） → 調光３（暖色:100% 白色:0%） → 常夜灯 → 全光

●壁スイッチを２秒以上ＯＦＦにしておくと次にＯＮさせると消灯前の状態になります。※常夜灯の場合のみ調光３の状態になります。

リモコン使用上のご注意

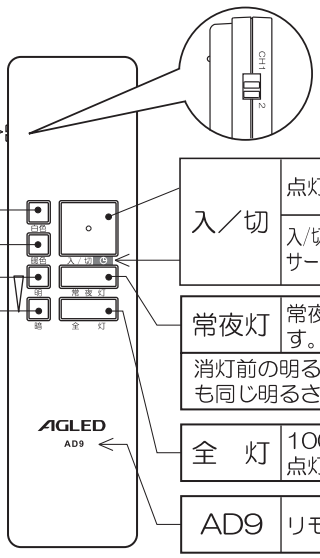
●インバーター照明器具が取り付けられた部屋でのご使用の場合は**インバーター照明器具から1.5m以上離して取り付けてください。**
●1つのリモコン送信器はチャンネルに合わせた信号しか送信できません。
　２台の照明器具を１つのリモコンで操作する場合は、照明器具のチャンネルとリモコンのチャンネルを合わせて操作してください。
●本器具に添付のリモコン送信機は、当社リモコン照明器具専用です。
●照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用すると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
●リモコン送信機は器具に向けて操作してください。
●リモコン部の回路が約１W以下の電力を消費しておりますので、節電のため長期外出時には壁スイッチを切ることをお勧めします。
●壁スイッチで電源を切った場合及び停電の場合は、リモコン送信機で操作しても作動しません。
●壁スイッチ、送信機のボタン及び電源のON/ＯＦＦを続けてくり返し操作しないでください。故障の原因になります。
●電源の停電などで明るさが切り替わったり、切り替えができなくなったりする場合があります。
●リモコン送信器の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布でふいてください。
●大型液晶テレビやプラズマテレビに近接している場合、リモコン送信機で操作できない場合があります。

リモコンで操作する

チャンネル切替スイッチ	CH1/2
器具のチャンネルに合わせます。２台ご使用の場合、各器具に合わせて切り替えます。（対応機種に限る）	

光の色を調節するボタン	白色 暖色
光色が変わります。白色ボタンで光色は昼光色側へ。暖色ボタンで光色は電球色側へ変わります。長押しすると連続的に調整できます。	

明るさを調節するボタン	明 暗
明るさが変わります。長押しすると連続的に調整できます。	



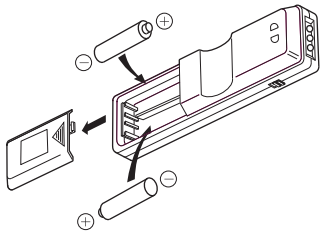
入／切	点灯、消灯します。 入/切ボタンを長押しするとサーカディアン モードになります。
常夜灯	常夜灯のON／OFFができます。 消灯前の明るさを記憶するので、次回も同じ明るさで常夜灯を点灯できます。
全　灯	100%の明るさで点灯します。
AD9	リモコン品番

注意

●操作距離は天井、壁の色や材質によって変わります。
●リモコンを落としたり強い衝撃を与えないでください。
●室温が低いとリモコンが効きにくくなることがあります。
●短時間でも停電が起こると復旧時に点灯状態が切替わる場合があります。
　長時間使わないときは、壁スイッチを切ることをお勧めします。
●常夜灯点灯時に「入／切ボタン」を押すと、常夜灯点灯前の状態になります。

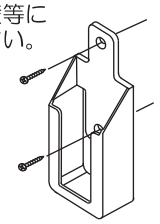
リモコン品番：AD9

●電池の交換方法



⚠ 注意

●新旧、異種の電池を混用しないでください。
●電池の ⊕ ⊖ は正しく入れてください。
●単３形乾電池をご使用ください。
●使用後は可燃ゴミに入れないでください。

●ホルダーの取付け方

付属の木ネジで壁等に取り付けてください。